



第1842回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL. 38 No. 46

2012年 6月27日 (水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30~

司会者 上原 俊宏 会長

唱歌

”手に手つないで”
 山本 亘 君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
47名	3名	7名	84.09%
6月13日修正出席率 93.18%			

ニコニコ箱

(敬称略)

◇最終例会を迎えて

愛須、後藤、橋本、畑地、平野、本田、堀、泉片井、小山、橋本、森本、中川、中嶋、西谷、沖、小倉、岡本、坂本、杉若、竹村、谷峯、内芝、上原、浦地、渡口、安井、山本、吉田、吉本、前田

◇皆さんのトレーに講演会の案内を入れさせていただいております。ご参加宜しく願いいたします。ハナヨさんで7月30日です。

杉若社長、ありがとうございます。 谷本

◇最後のダジャレ。北村さん、ヤマモモありがとう。皆様一年間ありがとうございました。 佐田

◇佐田幹事の最後の挨拶は楽しくおもしろく決めてください。期待しています。 玉置

◇後藤さん、配達までして下さってありがとうございました。 北村

◇お花頂きます。 谷中

■回覧

- ◎週報「白浜RC」「田辺はまゆうRC」
- ◎河内長野RCより「創立50周年記念誌」
- ◎「JCニュース6月号」
- ◎ガバナー事務所より「R財団寄付5月度迄集計表」
- ◎「インターアクトクラブ年次大会のご案内」

■掲示

◎ガバナー事務所からの「報告書」と上原会長から大澤ガバナーへ送った文書

■連絡

- ◎6月27日(水) あしべ様にて「クラブ協議会」を開催致します。新年度理事・役員・委員長はPM6:00~、他の会員さんはPM6:30~
- ◎「入口当番表」と「前期会費納入案内」と「40周年記念事業の積立納入案内」を各自トレーに入れてあります。よろしく願いいたします。

会長挨拶



会長
上原 俊宏 君

今年度の例会も本日で最終となります。一年間会長職を預らせていただきまして、好き勝手をして参りました。是も、ひとえに理事・役員の方々のご努力と寛容に加え、会員全員のご協力による賜(タマモノ)と深く感謝しております。

思い起こせば昨年の7月、会長エレクトから会長になる第一週のことでありました。地区幹事から、会長エレクトは十分な資格がないので会長職は、いわゆる直前会長がするのが筋だとの「怪」文章が2640地区の各ロータリークラブに送られて参りました。いわく、今期の会長達は全て、規定のPETSを終了していな

会長報告

■本日は2011~2012年度の最終例会です。後ほどご挨拶いたしますのでよろしくお願い致します。

■6月23日(土)、米山記念奨学委員会会議に出席の米山小学友委員会地区委員長の坂本正人君、ご苦労様でした。

■新会員の中西 正人君が出席してくださっています。後ほどご挨拶をお願いいたします。

幹事報告

■例会日時変更

◎高野山RC 7月6日(金)→7月6日(金)
 17:00 ~ 場所:花菱

いのでまだ会長資格がないので、あせて会長職を遂行することの無いようにとの内容でした。しかし曲がりなりにも当時のガバナーエレクトのHさんが資格（RIの認定）を持って開催したPETS、その会合に参加しましたので、その会が、瑕疵の無い会長エレクトに必要なPETSであると思って7月の初めから会長の席に着きました。百歩譲って、当時のPETSが大澤ガバナーのいうPETSで無いとしたら、その責任は当年度の2640地区の現会長達の問題でも、責任でも無いと思っています。瑕疵なくして十分な任期の会長職が遂行出来ないとすれば、それは会長達の自責とは違うほかに原因があると思われま

す。手続き要覧には、ガバナーエレクトに異議がある場合には、地区のロータリークラブの投票により決めるとあり、別の候補者を立てて、ガバナーの任期に欠員の無いように行動するという規定内容があるようです。つまりガバナー事務所が、HさんのPETSをどうしても認めたくないという姿勢と、代わりのガバナーエレクトを準備せずに、当時のガバナーエレクトを非難し続けた対応に問題があったと思っています。問題があれば、「定め」にしたがった問題の修正の方法があると思うのですが、それが紳士的ではなかった。つまり、「角を矯めて牛を殺す」の諺のような行動をされたことに問題の本質があるように思っています。いえ思っていました。

このままでは、2640地区の70余名の会長達は全て、会長任期が12ヶ月に該当せず、将来、勿論、成らないことも十分あるのですが、規則ではガバナーエレクト、ひいてはガバナー、あるいはおそらくガバナー補佐に関しても就任に必要な資格がないことになります。今期の70名の会長経験者は、皆、将来の2640地区のガバナーになり得る芽を持った人々であると思いますが、ガバナーの対応により、その若い芽を摘まれたという事態が出来（しゅったい）することになりかねません。つまり、このままでは「一将功成りて、万骨枯る」と言う絵柄の完成に近づくことになると思っています。・・・己亥の歳 <曹 松>参照・・・

この問題は、現大澤アクトガバナーが任期の内に、権限のある内に解決しておかなければならない大きな宿題のように思っています。近い将来、今期の会長の中からガバナーエレクトが選出されたとき、几帳面に手続き要覧を読んでいる会員が、任期が足りないと騒ぎ出す可能性が十分にあるということになります。

それで、この6月の初め、大澤ガバナーに質問状をしたためました。それは、理事会にもかけず、会長の独断で行いました。もし、ガバナー事務所から問責があれば、責めはすべて小生にあることにしたいが為です。掲示板に、ガバナー事務所に親書で送付いたしました文章を、表示しておりますので、参照していただ

すように。

結果として、大澤ガバナーが開催したPETS並びに地区協議会を終了した暁には、遡及して7月1日から今年度のクラブの会長は全て瑕疵の無い会長となるとの宣言をいただきました。

これで、まず今後の問題は発生しないと思えますが、現実には旧Hさんの開催したPETSを公式のPETSと認めるのかどうかは、灰色のままとなります。Hさんの開催したPETSにかかる費用は、現ガバナー事務所が支払うと言うことですから、実質的にはPETSと認めたと言うことになるのかも知れません。（遡及効：さかのぼって有効となる：法律用語）

まあ、これ以上の詮索はよろしくないのでしょうか。当方もこれを機に問題指摘を終了したいと思っています。

さて、話は変わります。

このたびの会長職を受けるに当たり、幾つかの仕掛けを用意してきました。昨年度に細則、内規を少しばかり改定しました。規定審議会の意見もありましたが、さらに内容を理解するためです。

一方、少し前に、クラブのキャラクター「龍」を作成し、ハッピーやシールに使用し、会員の気持ちをまとめる手段として用いました。

また、一度作っていたHPが、休止・停止状態にあったので、全く新しく新設をいたしました。

これにより、会報の紙ベースでの配信ではなく、インターネットによる会報の配信が可能となりました。

また、不足していた念願のバナーも追加注文をいたしました。どさくさに紛れて、バナーの説明文を30周年事業で、小生が作成した文章を、英訳はせずにそのまま流用しました。

また、個人的な趣味で和服を着用させていただきましたが、大きなクレームも出ずなんとか帯の締め方も分かるようになってきました。

HPに載せる会長写真が必要な事から、40周年用の会員写真を今年の新年会から開始しました。その写真を流用して、会長写真としました。

一方、当クラブでの標語を作成しました。沖先生、ありがとうございました。時に触れ

「落葉帰根」を公案のように、思慮していただくと、きっと新しい奉仕の楽しみがわき出ることでしょう。一方では、退会会員に対しましては、感状を贈呈し、その功績を讃えることといたしました。

ロータリーの会員のまま物故会員と成られた方には、感謝状を、又枕頭には誄詞を供えるようにしました。

このように、今年度は大変に個人的ですがロータリーを楽しませていただきました。いわゆるクラブ奉仕を行って来ました。今期は、小生が独りでしっかりとロータリーを楽しんだ風情もありますが、多くの会員の方々、

また理事の方にも寛容の精神で対応していただきました事、深く感謝しております。

今期は、個人的にはたくさん楽しませていただきました。一方では各理事の方の懸命なる努力により、多くの奉仕活動を行うことが出来ました。偏に理事の方々のご努力の賜と感謝申し上げます。それは、すでに過去二週にわたりご報告の通りであります。

ただ、今期はいくつかの問題もありました。昨年から引き続き自然災害が発生したこと、会員の増加が不十分であったけれども、退会者が出たこと。特に個人的にもロータリー的にも多くの指導を賜りました「隠岐和彦先生」の退会は残念で成りません。

ロータリーを楽しんだだけでは無く、いくつかの習慣を作りました。

今までは、クラブ概況報告及び各委員会活動計画書に「理事会報告」などの概況報告が無かったので、今期から委員会報告だけでない概況報告書を作成するようにいたしました。これは谷峯会員からの提案でした。

ロータリークラブの週報はDTPに成って久しいのですが、今期からインターネット配信が始まるに従い、過去の週報の保存が不確実となりかねません。それで年度ごとの週報の綴りを小冊子に作成しました。それをクラブ保存はもちろんのことですが、近隣の図書館にも保存してもらおうこととしました。

つまり、田辺市立図書館へ、県立図書館へ、みなべ町立図書館へ、上富田町立図書館等へと、週報の綴りを寄贈することにしました。会員の皆様方には、事務所にも保存の予定ですが、各図書館でも閲覧できると思いますので活用して下さい。

あと、遅ればせながら「ロータリーの傘」運動を細々と今後の課題として背負ってゆきたく存じています。会員の皆様方には、年度が代わりましてもご協力の程よろしくお願い申し上げます。

後時間がありますので、少しばかり余談を。

さて、地球が発生したのは約46億年前とされています。また宇宙が発生したのは今から137億年前のことだとされています。特異点としての巨大なエネルギーの発露としてのビッグ・バンが生じ、その後、原子が、分子が、素粒子が、そして星が、銀河が発生しました。と同時に時間も生まれてきました。多くのモノが対称性に発生したとされています。たとえば、物質を構成するフェルミ粒子(Fermion)、力を媒介するボース粒子(Boson)、つまり、電子や、光子、ミュー粒子、ニュートリノなどです。

そして、それらの多くの物質とエネルギーが現在の宇宙を構成しています。現在のこの宇宙は四次元時空であり、ミンコフスキー空間であるともいいます。でも、実際は11次元時空であることが「超弦理論：スーパーstring理論」から想定されています。残りの次元はどこにあるのかと言えば、その答えは分かりません。一応丸められて小さく存在するとされているようです。

線形代数によりますと、サラスの公式のように次元を下げる理解もあるようです。

この、ビッグ・バンの発生以前には時間も空間も次元も無かったのですから、何もなかったと言えば良いのですが、それではビッグ・バンの発生が分かりません。想定の上での話ですが、そこには、さざ波の立つ巨大なエネルギーの海のようなモノがあったのであろうと。そこでは「+」の変位が起きるとすぐに「-」への変位が起きる。平均すると「0」である表面活動の中で、あるとき突然に、何らかの理由で、平均から大きく乖離し「+++」となった大きなエネルギーが発生した。普通ならすぐに同じレベルの「-」のエネルギーが間髪を入れず発生するはずであったが、その対応するエネルギーが発生する前に、乖離したエネルギーが爆発してしまった。それがビッグ・バンであると。つまりこの世は、この宇宙は大きなエネルギーの海の変位から、あるいは恒常性からの逸脱により、あるいはチエンジから発生したのであろうとされているようです。素粒子の世界でも、対称性の破れということがあります。時に応じて、変位する能力というのがこの世の、この宇宙のあるいは四次元時空の特徴であると言えますでしょう。

それをチエンジという人も居ますし、適応という人もいます。

この世は常ならず、常に状況に応じて適応し進化したモノが生き残っているといえましょう。現実に宇宙が、地球が変わってきています。同じ能力では生きていけません。環境に適応し、変化し、進化することが人類の特徴であり、本質であると思います。生物が発生したのはほぼ38億年前、猿人、原人、旧人、新人と変化し、ホモ・サピエンスが発生したのは3万年ほど前と言われます。ましてや文明は5000年ほど前からとなります。変化し、進化しながら対応してきた人類さえも、地球を破壊さえしなければ、あと数千年程度で動物としての寿命が尽きることでしょう。人類の長生を願うならば、奉仕活動にも変革が必要となってきます。その上で、さらに新しい人類になるためには、変化を遂げてなお数千年かかることでしょう。

いずれにしても生物としての、人類の行動が、狭い地球で生き残るためには、さらに奉仕活動によって、エントロピーを減少させる方向にむかうということに成りましょう。

いびつ歪な世界を見て、ポールハリスはロータリークラブという人類の進化形である奉仕をともなうなりわい生業人の団体を形成しました。そのロータリークラブも規定審議委員会などをへて、あるいは会長が毎年変わると言うことを通して進化している。あるいは環境に順応していると言えますでしょう。

つまり、会長が替わると言うことは自然の摂理に従っているとも言えます。

今期の会長を終了するに当たり環境を見て新しいクラブになるように、次期会長の橋本さんにエールを送り

対と思います。

新しいロータリークラブの夜明けに向かって会員それぞれがアントロピーを増加させないように、さらに変革しましょう。たとえば「落葉帰根」のつぎは「倒木更新」となります。新しい方向に向かうロータリークラブですが、その方向を決めるコンパスは会員の意見と行動です。

航海に於いては、かつては六分儀（セクスタント）を用いましたが、今は昔の杵柄となってしまいました。それに代わりGPSが幅をきかせています。いわゆるカーナビです。でもカーナビも太平洋の上で、電池切れした場合には役に立ちません。太平洋の上では常に計画停電中です。そんなときは温故知新、六分儀も必要になってくるかも知れません。いわば、六分儀も使え、GPSも理解できる事がこれからのロータリアンの素養となると思います。

今期、会長自身が十分な六分儀とは成りませんでした。多くの会員の方々の協力が十分なコンパスとなりました。ありがとうございました。

副会長挨拶



中嶋伸和君

上原会長・佐田幹事の下で、今は本当によい一年であったと感謝しています。上原会長は、ホームクラブ出席100名の人ですから私の出番は無いと信じていましたが、移動例会の際に生涯たたくことの無い鐘を2回もたたかせて頂きました。又、佐田幹事は、事あるごとに会長と連絡が取れないので、「どうしたらいいですか？」と携帯の鳴ることおびただしい程でした。しかし、この会長ありてこの幹事で良かったんだと今実感しています。

この一年で一番印象に残っているのは、隠岐和彦先生が亡くなられた事で、葬儀の際に会長代理として弔辞を代読させて頂いた事が私にとっては大きな仕事ではなかったかと思えます。

この一年会員の皆様を支えられてこの日を迎える事が出来ました。

本当にありがとうございました。

幹事挨拶



佐田一三君

心配していた幹事としての一年も、大過なく終えることができました。これもひとえに会長をはじめ理事役員及び会員の皆様方のご支援と、ご協力のおかげで

す、感謝申し上げます。

特に行事に携わっていただきました、各委員長の皆様方には、ご苦勞をおかけいたしました。そして事務の木村祥世さん、本当に有難う御座いました。古家先生、唱歌有難う御座いました。

私も幹事と言うクラブの要の役をさせていただき、九年目にして、ようやく他クラブとの交流、及び、会の運営、特に会計面の決算等、ロータリークラブの流れを知り、大変勉強させていただきました。

この一年間は、私自身ノーヒット、ノーラン、何を言わんや、一回も休まず、パーフェクトに出席しました。

(幹事と言う重要な役から。)

来期は少しゆっくりさせていただきます、本業の仕事に専念します。

(だれだー仕事せんねん なーんてこといってやるやつはー！！)

連絡事項



谷本司君

『田辺掃除の会』

平成24年7月から世話役に就任しました。

7月1日(日)5時半～ 扇ヶ浜で清掃活動します。

参加の程、宜しくお願い致します。

新入会員



新会員の
中西正人君

宜しくお願い致します。

会報委員長より

お世話になります。榎本です。

半年間、体調不良の為義務免除を頂き、大変ご迷惑をお掛け致しました。

今まで、皆様の仲間として約三年間お付き合い頂き、ごのご縁を心より感謝しています。

会報委員長として大変心苦しかったのですが、家での週報の作業が精一杯の状態でしたので申し訳ございませんでした。

最終例会こそは出席して、皆様の前で最後のご挨拶をしようと連絡しておりましたが、また体調不良で欠席となりました。

至らぬ点ばかりでご迷惑をお掛けしましたが、会以外の交流でもとても親切にお付き合い頂いた事を心より感謝致します。今まで本当にありがとうございました。

榎本真弓